



令和5年6月29日
第三管区海上保安本部
海の安全推進本部

～夏を待ちきれずに～

夏の事故ゼロキャンペーン開催！

第三管区海上保安本部では、各種ウォーターアクティビティが活発化し海難が増加傾向となる、7月16日から8月31日までの間を「夏の事故ゼロキャンペーン」とし、官民が連携した海の安全運動を展開します。

夏の事故ゼロキャンペーン安全推進事項

船舶の事故「0」を目指して

- 専門業者による定期的なメンテナンス
- 常時見張りの徹底
- 発航前の点検
- 無理のない航海計画の策定
- 最新の気象・海象情報の入手
- 故障に備え、救助支援者の確保

海浜事故「0」を目指して

- 海水浴場内で遊泳する
- 飲酒後の遊泳は厳に慎む
- 立入禁止場所へ侵入しない
- 釣り・スノーケリングをする時はライフジャケットの常時着用

夏の事故ゼロキャンペーン 2023.7.16～8.31

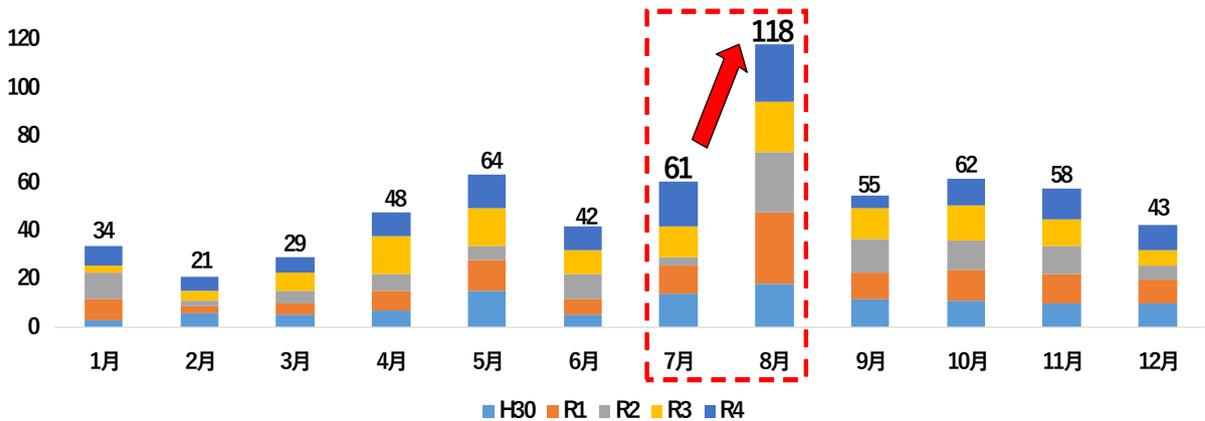
海の安全情報 Water Safety Guide

海の安全運動推進連絡会議 (公社)日本海難センター補助事業 (公社)東京湾海難防止協会

月別海難発生状況（過去5年）

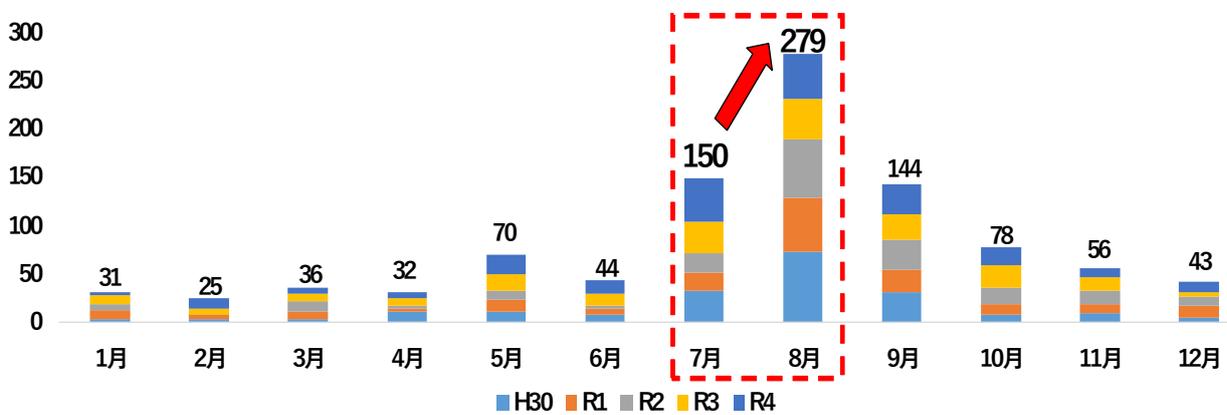
○船舶海難（小型船舶）

単位：隻



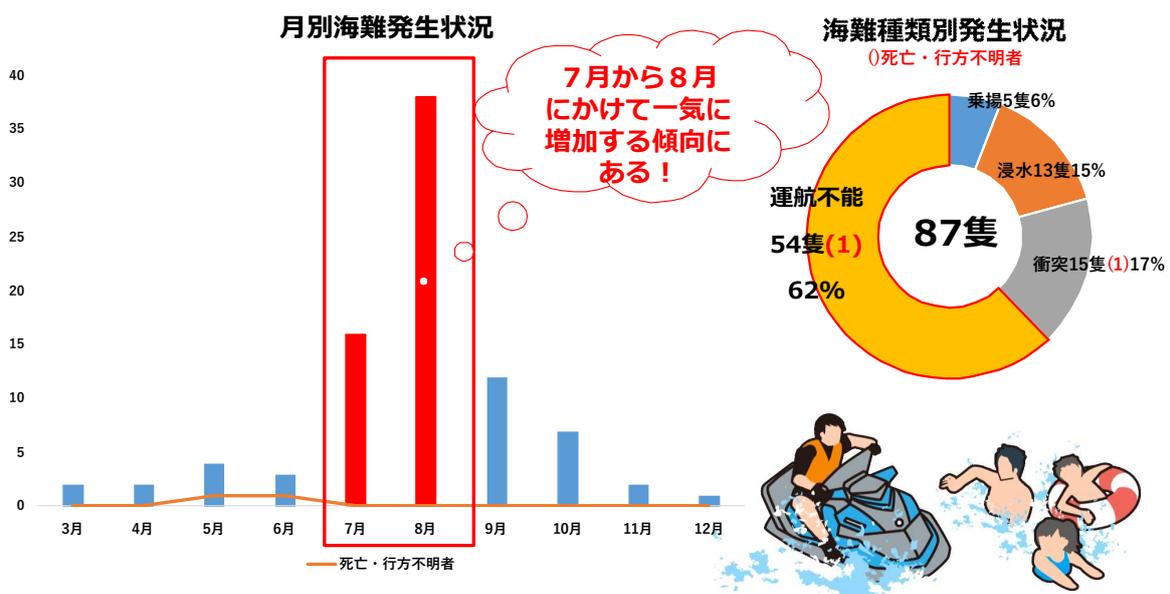
○人身海難（マリンレジャーに伴う海浜事故）

単位：人



●船舶海難、人身海難ともに7月から8月にかけて増加傾向

水上オートバイ海難発生状況（過去5年）



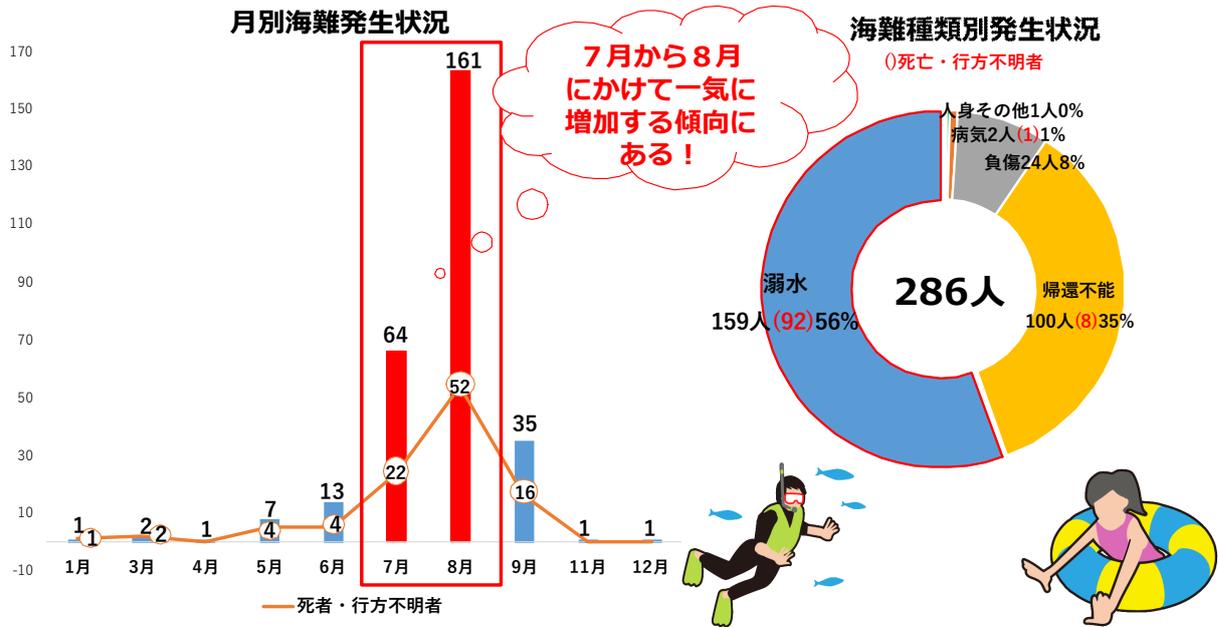
●年間を通して7月、8月に増加傾向

●海難種類別では、運航不能海難が全体の62%を占めている

水上オートバイ事故防止4つのポイント

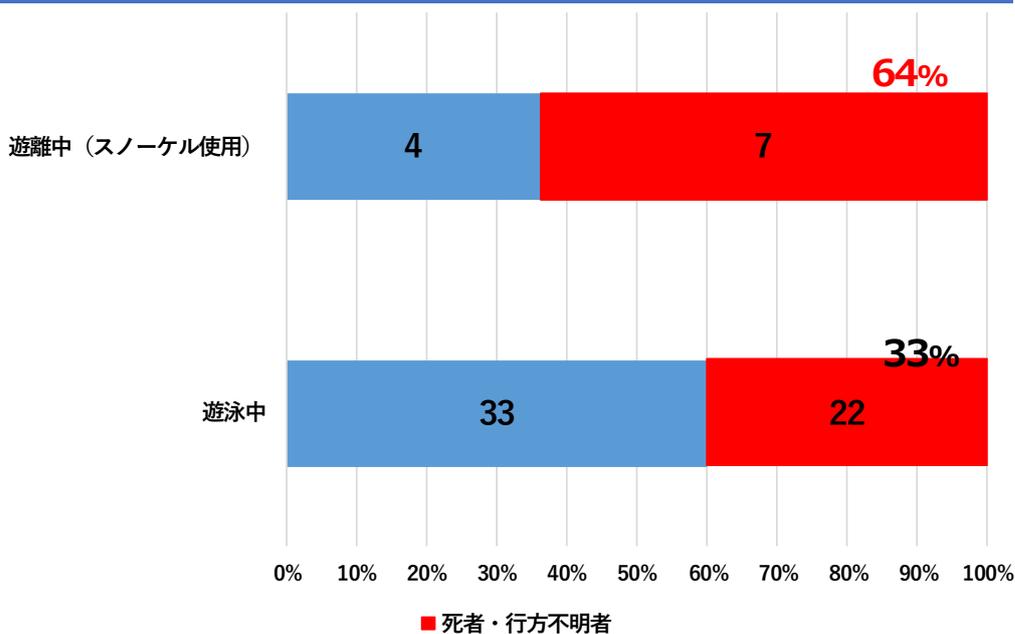
- 遊泳者の近くで危険な操縦をしない
- 同乗者を振り落とすなどの危険行為をしない
- ライフジャケット等の適切な装備を装着する
- 水上オートバイの復元の方法や操縦上の注意事項などを確認する

遊泳中の海難発生状況（過去5年）

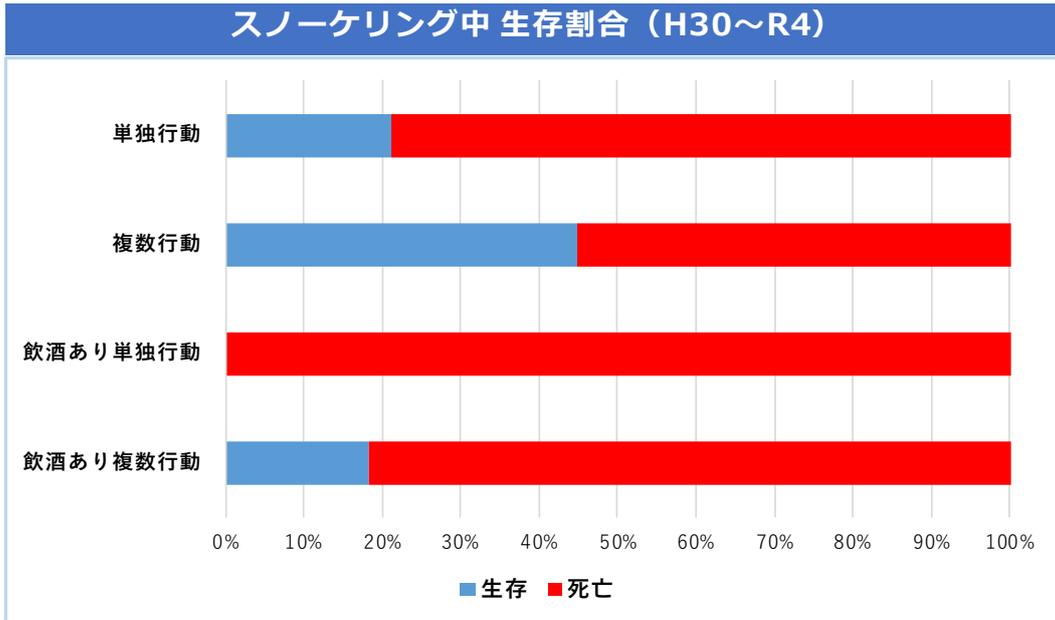


- 年間を通して7月、8月に増加傾向
- 海難種類別では、溺死が全体の56%を占めている

遊泳中の生存割合（R4）



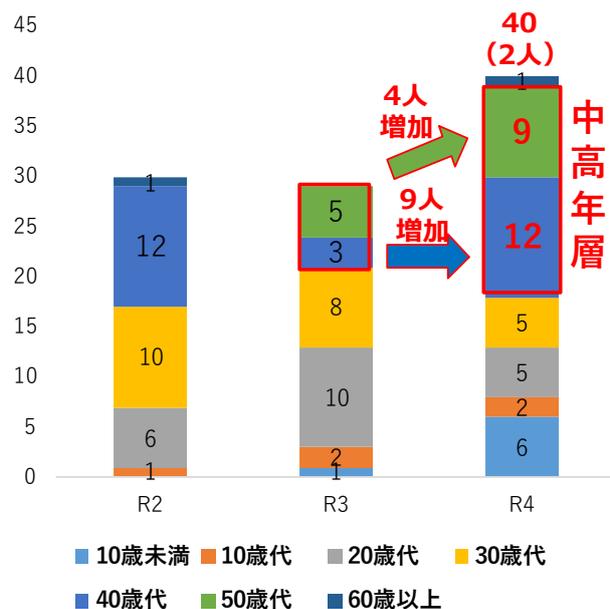
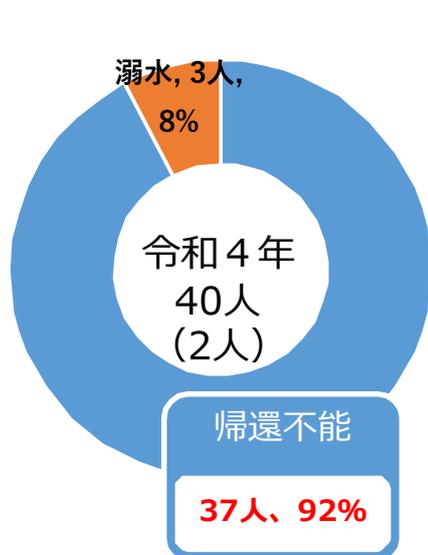
- スノーケリング中は事故に遭うと死亡する可能性が高い



● 飲酒后、単独でのスノーケリングは大変危険である

- #### スノーケリング中の事故防止4つのポイント
- 基本装備4点セット(スノーケル、水中マスク、フィン(足ひれ)、ライフジャケット)を正しく装着する
 - マスククリア及びスノーケルクリアの基本的な知識・技能を習得する
 - 複数人で実施する
 - 飲酒してのスノーケリングは控える

SUP中の海難発生状況 (過去3年)



- 全体の92%が帰還不能
- 中高年による海難が大幅に増加

※ () 内は死者・行方不明者数

SUP 中の事故防止4つのポイント

- **必要な知識・技能の習得**
- **気象・海象の確認**
 - ・風 5メートル、波 0.5メートル以上で帰還不能になる確率が増加！
- **状況(季節や水温)に応じた適切な装備**
 - ・ライフジャケット、リーシュコード、携帯電話(防水)
- **インフレーター(膨張式ボード)の適切な取り扱い**
 - ・適切な空気圧、エア漏れの確認

お知らせ

■海の安全情報

灯台で観測したリアルタイムな気象情報、航行に支障をきたす流木などの漂流情報、竜巻目撃情報・突風にかんする緊急情報等を掲載しています。



■ウォーターセーフティガイド

ウォーターアクティビティ（海辺でのレジャー活動）を安全に無事故で楽しむための総合情報サイトです。



■海しる

「海洋状況表示システム」(海しる)は、“海の今を知るために”さまざまな海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせ表示できる情報サービスです。日本の周辺海域のみならず、衛星情報を含む広域の情報を掲載するとともに、気象・海象のようなリアルタイムの情報も掲載しています。

